



平成28年12月2日 編集: 区議会だより編集委員会 発行: 千代田区議会

〒102 - 8688 千代田区九段南1-2-1 3264-2111 内線3315

ファクシミリ 3288-5920





和田倉門交差点から行幸通りを望む

トップニュース

Top News

「平成27年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について」は継続審査に! (詳細は本文P8をご覧ください)

■平成28年度千代田区一般会計補正予算第2号【可決】

「子どものインフルエンザ予防接種費用の全額助成と高校3年生相当まで対象の拡大に要する経費」等、5,305万9,000円 の予算額が追加されました。

■千代田区障害者の意思疎通に関する条例【可決】

障害のある人もない人も相互に理解し暮らすことのできる地域社会を築き、多様な人々が交流し共に支えあう共生社会の実 現を目指して条例を制定しました。

++>由应

土は内谷	
●代表質問	2~3面
●一般質問 ······	4~5面
●定例区議会活動報告等	6~9面
●委員会で取り扱った陳情等・	10~11面
●議案の審議結果等	12 面

提案された議案等

区長提	出譲条		
・条例		2	<u> </u>
・予算	、決算	2	<u>4</u>
		_	

契約等 ·························6件 報告 ························· 1件

◆議員提出議案

・意見書 ·······3	件
• 決議 ·················1	4



●ホームページアドレス

http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp

●メールアドレス

kugikai@city.chiyoda.lg.jp



*この区議会だよりは、区議会ホームページでもご覧になれます。区議会ホーム ページでは、「区議会日程」や「キッズページ」等を掲載しています。また、区議会 の最新情報をお届けする「メールマガジン」も発行していますので、どうぞご利 用ください。

代表質問 寒

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

自由民主党議員団

松本 佳子

平成27年度決算審査について

問 第1回定例会にて、区長が説明責任を果たしていないことを指摘した。 決算審査に際し、どう受け止めたのか。

意 議会と共通認識を持ち、住民等の意向を踏まえて区政課題に取り組むことが重要。適時適切な説明等が十分でなかったとの指摘を真摯に受け止め、課題解決に向けた予算編成に努める。

校外学習の宿泊行事について

問 ①今後の宿泊行事の実施方針は② 唯一の区有宿泊施設である軽井沢少年 自然の家をどう活用するのか。

② ①子どもを成長させる貴重な機会である。実施場所や時期・活動内容の改善を継続していく②より良い宿泊行事を実施するため、学校行事では使用しないこととした。それ以外の用途については、地元の都市計画による用途制限等の課題を踏まえ検討を進める。

お茶の水小学校・幼稚園の整備

問 改築に向けた検討をどう進めるのか。学校関係者や地域等の理解を得て、 円滑に進めるための取り組みは。

審 現在地での校舎建て替えが基本。 仮校舎の確保や通学距離等の課題、改 築の日程を示し、関係者間で共通認識 を持つ。地域全体での検討組織を立ち 上げ、今年度末に施設整備計画を策定、 来年度は基本設計に着手する予定。



自由民主党 新しい千代田

林 則行

待機児童と「隠れ待機児童」

問 厚生労働省が公表した「隠れ待機 児童」は東京都認証保育所利用者も含まれる。千代田区の数値は477人①区 内の認証保育所で、多様化する保育 ニーズに応えた事例は②区所有の低未 利用地を活用した保育所設置の考えは ③園庭のある保育所や遊び場確保のため、土地を積極的に購入すべき。

② ①区内初の病後児保育室が開設された②区の低未利用地をはじめ、区所有の公園・児童遊園等の活用を検討し、 具現化を図っていく③区内で保育所設置可能な広い土地は少なく、まずは区の低未利用地を活用していく。

二番町国有地介護施設と保険料

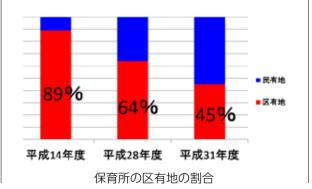
二番町国有地を活用した介護施設整備により、介護保険料は上昇するか。

答 特養利用に係る施設サービス費と 在宅で各種サービスを利用する在宅 サービス費を比較すると後者の方が若 干多いため、保険料の上昇はないと想 定。

区立学校の給食無料化

間 区立学校に通う区民の子どもたち の給食無料化にかかる経費を問う。

答 小学校は約1億1千万円、中学校は約4千万円。給食費を含め子どもへの補助は私立学校に通う子どもへの配慮も必要。給食の充実も含め検討する。



日本共産党区議団

木村 正明

問われる都市計画の公共性

10日比谷地区の再開発の基本設計の請負業者が、同地区の地区計画策定業務を落札した。まちの将来像を決める計画を、同じ業者が請け負っている。地区計画を誘導される懸念はないか2 国の特区制度は、区の自主権が及ばない。指定解除の要求をすべき。

⑤ ①地区計画は地権者と地域住民の 合意であり、事業者に影響されない② 地域の要望を反映するよう働きかける。

個人事業主への支援強化を

問 ①実態調査を実施し、事業主の要望把握を②家賃補助、大型店対策を③ 市民参加型の商工支援推進体制整備を。

管 ①アンケートやヒアリングを実施 し現状把握に努めている②事業経費と して商工融資を実施。大型店との連携 には補助金で支援③区民、商店街、商 工関係団体等で構成する組織を設置。

居住の安定は生存権の土台

□ ①区は借上型区民住宅契約終了後について、オーナー・居住者と協議を②マンション建て替え時に高齢者が住み続けられるよう支援を③原発事故避難者が継続して住めるよう支援を。

管 ①継続居住と住み替え支援実施② 高齢所有者に配慮した合意形成のため 専門家を活用③被災自治体、国、都等 と連携し判断する。



代表質問



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

ちよだの声

小枝 すみ子

千代田市構想について

- 問 15年前、区長就任時に目指した 千代田市構想について①区民の認知度 と支持は②構想実現後の東京都政は③ 構想は継続していくのか。
- 管 特別区の自治権には制約がある。 構想は、自主・自律の区政運営を行う という意思表示である①名前が定着し ていないとの指摘があるのは事実②財 源配分や役割分担の議論が必要③引き 続き23区で協力し進めていく。

区有財産について

問 石川区政では、急速な区有財産の貸付・処分が進んだ。区民ファーストの区政が実現したか。自己評価を問う。 総論では評価されているものと考える。意思決定の透明性を確保する等、今後とも手順・手続き等のルール改善を継続していく。

街路樹伐採について

- 問 今夏、自転車道路整備等のため、 幹線道路3カ所の街路樹300本の伐採 が始まった。区の各種計画等では、街 路樹の有用性や保存育成が明記されて いる。直ちに中止すべき。
- 今回の整備は、地域と時間をかけて検討し、警察との協議も踏まえたもの。また、関係機関や地域への説明も行ってきた。今後とも防災の観点、地域の愛着等を配慮し整備していく。



公明党議員団

大串 ひろやす

心の豊かさを実感できるまちへ

- 間 経済性や利便性のみでは良いまちはできない。心の豊かさを実感できるまちづくりへの転換が必要だ。ハード偏重ではなく、街並みやにぎわいのある沿道、またコミュニティなどソフト面に重きをおいたまちづくりだ。そこで、これからのまちづくりについて基本的な考え方を問う。
- 管 住民が地域の課題と将来像を共有し、地区計画など皆で合意したルールにより、ハード、ソフト含めて主体的にまちづくりを行うことが大切だ。今後とも地域発意のまちづくりを積極的に支援していく。

豊かな沿道空間の形成について

- 問にぎわいや緑豊かな沿道は、心の豊かさを実感できるまちの重要な要素である。そこで、区として①どう豊かな沿道空間を形成していくのか②指針を策定し推進してはどうか。
- を ①にぎわいの創出、回遊性の向上、 魅力の向上を目的に、道路及び沿道の 多目的な利用が認められてきている。 車社会から人優先の社会認識が進むこ とが予想されることも踏まえ、沿道の 機能更新等の機会を捉え、地域と協議 し進めていく②指針の策定は、区民の 意識啓発に大きな意味がある。道路整 備の機会を捉えて、一定の実績のもと 検討していく。



千代田区都市計画図











※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

永田 壮-(自民)

生涯スポーツの推進について

- 誰もが気軽に生涯スポーツに取り 組めるよう、区は環境整備を図るべき。
- 答 学校開放による場の提供、団体の 活動支援、体育協会加盟団体以外の種 目の情報収集・活用の検討等を実施。

柔道普及について

- 問 柔道事故は指導で防止可能だ。 区立学校に柔道部がない。創設可能か。 マット運動に受身を導入できないか?
- 希望があれば可能。十分な安全対 策を講じるよう学校を支援する。



大坂 隆洋 (自民)

ちよくると放置自転車対策

- 問 ①コミュニティサイクルの今後は ②放置自転車の状況把握と対策は。
- ①隣接区との役割分担や費用負担 等の課題があるが、継続運営を目指し 来年度以降の方針を整理する②秋葉原 駅周辺では減少。区全体ではその傾向 にないため、今までの取り組みを検証 し、より効果的な施策を拡大する。

神田川と日本橋川の安全確保

- 法的な規制がない中、多くの船舶 や水上バイクが河川を航行し危険であ る。安全性に対する認識と対策は。
- | 答|| 狭い河川に構造物もある。事故等| の防止対策が必要。都は、注意喚起の 掲示や運行状況等の調査を予定。ルー ル等の作成も検討するとのこと。区も 都や関係区と連携し安全対策に努める。

米田 かずや (公明)

ちよだ区議会だより

意思疎通に関する条例について

- | 間 | 障害者差別解消法が施行され、行 政は相談に応じる法的義務が生じた。 高齢者や障害者は情報入手、意思の伝 達に支援が必要①支援のため取り組む 施策は②専門の技能講習会の実施を。
- 管 ①出張所窓口等での手話サービス の拡大、意思疎通に取り組む事業者へ の助成制度を検討②職員、区民、事業 者等に専門技能の講習会等を実施予定。

自転車の安全対策について

- 問 自転車利用の増加により事故も増 えている。有識者等による安全対策検 討委員会の設置と、損害賠償保険加入 義務を含む自転車条例を制定すべき。
- 安全な利用のため千代田区自転車 利用ガイドラインを策定。保険加入は 個人責任。保険の有用性を周知する。

小林 たかや (声)

区民財産の不適切な維持管理

- 区各施設の適切な維持管理のため ①修繕カルテの作成②施設ごとの主治 医(ビルディングドクター)が必要。
- 答 ①施設保全情報管理システムで工 事記録を管理②日常管理は施設管理 者、統括的管理は施設経営課が実施。

選挙に行こう手帳を作っては

- 問 若者の投票行動を促すために区独 自の「スタンプ帳」を作成しては。
- 答 インセンティブにより投票率をあ げることは、公職選挙の意義を考える と異質。啓発に有効な計画を継続協議。



桜井 ただし (自民)

住宅付置に代わる新たな制度を

- 間 活気ある街並みとするため、建物 一階へ、後背地の中高層住宅と調和し た商業施設等を誘導する制度が必要。
- 地域事情に即した協力が得られる 新たな制度に変更していく。

駐車場は面で考え街並みに寄与

- 問 新築ビルには駐車場設置が義務付 けられ、商業施設等を誘導しにくい。 建物から区画ごとの義務に見直すべき。
- 答 制度見直しも含め、所管の都と議 論していく。



江戸時代の麹町通り(岩城桝屋呉服店)

岩佐 りょう子 (紡民)

ヘイトスピーチ対策法について

- ①法の趣旨を踏まえ、どんな施策 を検討するのか②公共施設等の団体利 用について、可否判断の指針となるガ イドラインの作成等を検討しては。
- 答 ①差別的言動がなくなるよう、更 に積極的な普及啓発に努め、相談体制 の充実を図る②他自治体の実例等を元 に検討する。具体的事例の発生時は、 関係部署が情報を共有し対応する。ま た、区内警察署との連携を強化する。

ドッグランの設置について

- 間 未利用地や公開空地、屋上等を利 用して設置できないか。場の提供は地 域コミュニティの醸成にもつながる。
- 答 ニーズや地域コミュニティに対す る効果等の検証が必要。運営主体や財 源等の課題も含めて研究していく。

一般質問(要旨)





※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

岩田 かずひと (民進ク)

いじめ対策アプリ導入について

- 問 SNSのメッセージ中、いじめ・犯罪に関連する警戒言語から危険度を判定し、保護者に通知するアプリがある。これを導入し、いじめ対策とすべき。
- 当該アプリに一定の効果は期待できるが、個人情報保護等の課題もある。 検証結果を踏まえ、最新の動向を注視しつつ、いじめ防止に取り組む。

千代田区職員採用試験について

- 問 優秀な働き手でも正規雇用が難しい現状を踏まえ、雇用機会創出や幅広い人材確保を目的に、職員採用の年齢の上限を区独自で撤廃すべき。
- 審 経験者採用や年齢要件緩和は、人事委員会が23区統一で実施。適宜、受験資格の見直しを行っている。当区でも積極的に多様な人材を確保している。

牛尾 耕二郎 (共産)

軽井沢少年自然の家の存続を

- 問 今後の利活用について、区民や保護者、学校関係者等の意見を聞いた上で検討すべき。自然体験等の拠点施設として存続することを求める。
- * 地元の都市計画による用途制限等の課題を踏まえ検討する。その過程で、各学校へのアンケート等を引き続き実施し、意見を聞きながら進める。

保育士確保のために処遇改善を

- 問 ①民間保育士の処遇改善を目的と した事業者向け補助金の実態とチェッ ク体制は②保育士向け家賃補助は、採 用年数や区内在住の要件を緩和すべき。
- 答 ①補助申請時に処遇改善策を提案 させ、その後の報告書によって実績を 確認。賃金台帳のチェック等も検討② 他自治体の状況を把握しながら研究。

たかざわ秀行(千代田)

児童相談所の設置について

- 問 都から移管される児童相談所は、 豊富な専門知識・経験のある職員が必要。また、児童・家庭支援センターと の役割分担も必要。区の考えは。
- 密 必要な人材の確保・育成を行う。 児童虐待には現在、子ども部で対応しているが、これから検討していく。

有価物の持ち去りについて

- 区民が、区のリサイクル事業のために一生懸命分別した資源を、正規業者以外の者が持ち去ってしまう。対策や禁止条例を検討すべき。
- 著 現在は、持ち去りの情報連絡を受け、清掃事務所がパトロールしている。 条例を制定した区もあるが、罰則効果 等の課題があり、抑止効果は限定的である。

はやお恭一(千代田)

民間開放の現状と今後の方向性

- ①選定時の競争性・透明性・公平性の担保、新規参入時の引き継ぎ措置は②非公募時、競争性喪失への対策は。
- ② ①事業者の提案書とサービス水準を審査する選定委員会を設置。募集要項に引き継ぎ事項を明記②選定委員会の運用面でのさらなる工夫が必要。

区職員に求められる能力

- 間 ①区職員には「区民に分かり易く 説明する能力」と「委託先の事業者へ go・stopを判断する能力」が必要。区 の見解は②能力開発の為の育成体制は。
- ①より良い区民サービス提供には不可欠の能力と考える②新人職員は先輩職員の個人指導・OJTから始まり、それ以後の階層には各職層に応じた研修等により能力向上を図っている。

飯島 和子 (共産)

公道の街路樹について

- 間 神田警察通り、白山通りの街路樹が説明不十分なまま伐採された①街路樹を計画的に増やす考えはあるか②都道・白山通りの街路樹伐採の沿道への説明会を都に求めては③樹木選定や管理、更新等のルール作りが必要。
- 图 ①街路樹の重要性は認識。設置可能な箇所に極力植樹をする②都へ働きかける③地域の思いに配慮し、専門的な知見を活用すべくルール作りを検討。

訪問看護ステーションへの支援

- 問 介護・リハビリ報酬の引き下げは、 訪問看護ステーションの存続に影響し かねない。実態調査し、支援の強化を。
- * 訪問看護は更に重要となるサービスと認識。日常的に関係組織と打ち合わせ、意見交換や個別相談を実施。

議場の大型スクリーン 活用を試行!

本会議での質問時に、今までは補 足資料として、パネル等を使用して いました。しかし傍聴者席から見え づらいこともあることから、議長席 後ろの大型スクリーンを活用するこ とになりました。今定例会では本格 実施に向け、試行しました。



議場でのスクリーン活用を試行しました

定例区議会活動報告Activity Report

常任委員会

常任委員会では、区長提出議案8件(条例2件、契約2件、区道廃止1件、指定管理者3件)を審査しました。議案の審査経過等をご紹介します。 なお、審議結果は12ページをご覧ください。



企画総務委員会

議案4件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区議会議員及び区長の選挙における選挙運動の公 費負担に関する条例の一部を改正する条例」は、公職選挙法 施行令の改正に伴い、千代田区議会議員及び区長の選挙に おける自動車の使用、ビラの作成及びポスター作成の公費負 担限度額を引き上げるものです。公布の日から施行します。

〈審査経過〉

質疑の中で、今回の改正は、全国の都道府県並びに市が、 法に準じて条例で定めることによって公費負担ができると規定 されていることから、いずれの都道府県並びに市においても、 同様の改正であること等が明らかになりました。

「特別区道の路線の廃止について」は、神田練塀町地区第 一種市街地再開発事業に関わる都市計画決定などにより、特 別区道千第702号及び第703号線を廃止するものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、都市計画法第16条及び第17条に基づく公聴会及び都市計画案の縦覧で、道路廃止に対する反対は無かったこと。当該2路線を廃止し、新たに公共広場整備を行い、更に広場から南北に延びる道路を整備することで、人が通り抜けできる動線を確保し、にぎわいにつながる流れを生むこと。再開発事業完了後も、タウンマネジメントと連携し、責任をもって維持管理を行うこと等が明らかになりました。

〈討論〉

【反対の意見】

今回の特別区道の路線の廃止は、神田練塀町地区第一種市街地再開発事業に伴っての廃止であり、この市街地再開発事業について、住民要望が出発点ではなかったこと。さらに、さまざまな都市計画の公共性に照らして、いくつもの疑問があることから反対する。 (木村)

【替成の意見】

地域の方々が、長年いろいろと知恵を出し合ってここまで積み上げ、そこに再開発事業が絡まっていると認識をしている。特段、地域の方から反対はないということで、公共広場と南北に延びる道を整備し、地域のにぎわいを創出することで、地域の皆さんにいろいろ還元できるだろうということで賛成をする。 (嶋崎)

地域保健福祉委員会

議案4件の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区障害者の意思疎通に関する条例」は、障害のある方々が生活を営む上で円滑に意思疎通を図ることができるよう、障害のある人もない人も相互に理解し暮らすことのできる共生社会の実現を目指すものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、区が今後個別に取り組んでいく事業などの中で、さまざまな支援を提供していき、区民の方への理解を深めていきたいと考えていること等が明らかになりました。

次に、「千代田区立図書館の指定管理者の指定について」は、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき、指定管理者を指定するために議会の議決に付するものです。指定管理者候補者は「千代田ルネッサンスグループ」で、指定期間は平成29年4月から平成34年3月までの5年間です。

〈討論〉

【反対の意見】

公立図書館は文化の拠点として息の長い活動が求められる施設であり、継続性と熟練性が求められる。期間が限定される指定管理者制度はなじまないため、反対する。 (飯島)

【賛成の意見】

図書館5館の一体的運営の利点を生かした提案等が選定委員会で評価された。応募が1団体であったため、より一層の競争性確保に努めることを申し添え、賛成する。 (大坂)

次に、「千代田区立九段生涯学習館の指定管理者の指定について」及び「千代田区立スポーツセンターの指定管理者の指定について」も、区立図書館と同様、指定管理者を指定するために議会の議決に付するものです。指定管理者候補者は「ミズノグループ」で、指定期間は区立図書館と同様です。

〈討論〉

【反対の意見】

専門性と継続性が求められる施設職員の処遇や定着率について区が関与できず、期間が限定される指定管理者制度はなじまない。指定管理者の収益のための自主事業が多くなれば、利用者である区民にしわ寄せが出るので、反対する。 (飯島)

【賛成の意見】

今回の候補者選定では、3者から応募があり、適切な選定 手続きが行われている。指定管理のあり方やモニタリングを 今後の課題として挙げ、賛成する。 (大坂)

定例区議会活動報告Activity Report

常任委員会



子育て文教委員会

報告案件8件のうち主な報告は以下のとおりです。

「軽井沢少年自然の家について」は、昨年度までの施設利用実績、軽井沢少年自然の家の周辺及び地域の現状や用途・建築規制について説明・報告がありました。この中で、教育施設としての位置付けがある中で、建物の現状、周辺地域の状況や宿泊行事のあり方の変化に伴い、学校の宿泊施設としての利用が困難となっていること、一方で、今後、教育活動のほか、軽井沢ならではの魅力や可能性を見出し活用していく多角的な視点による施設のあり方について、検討を進めていく必要があることが明らかになりました。

「千代田区立幼稚園、幼保一体施設及びこども園の入園募集について」は、入園申込の際に、特別な事情により通園区域外の園に通園することが望ましいと考えられる場合に、その通園区域外の園を自区域の園として申し込むことができる「通園区域変更手続き」が新たに加わったこと等について説明・報告がありました。この中で、選考方法における優先順位が、起算日以前からの居住年数によるものとされているが、一度転出し、子どもが生まれて親元に戻ってきた世帯のような場合、過去の居住歴や期間が考慮されないため、検討が必要である。一方、居住歴の確認において時間や作業等の課題があることが明らかになりました。

「保育園等の待機児童数について」は、厚生労働省基準による待機児童数はゼロであるものの、10月1日現在、特定園留保164人、留保158人、転所留保54人といった現況があり、認可保育園への入所を希望する方が多いことや出生増により特定園留保が増加していることについて説明・報告がありました。この中で、現在の待機児童数の公表方法や表現については、厚生労働省の研究会などの動向を踏まえつつ、区民への広報の仕方なども検討していくことが明らかになりました。

「平成29年度保育園・こども園・幼保一体施設の入園案内について」は、10月及び来年4月に認可私立保育園2園、小規模保育事業1カ所等の開設により定員拡充が図られること、また、入園申込における選考指数や加算調整について変更を行ったこと等について説明・報告がありました。この中で、同一指数の場合に保育士・保育教諭が優先されることは待機児童解消に有効ではあるが、公平性の観点から永続的なものとして捉えることなく、今後、他の職種にも対象が広がる場合には対応を検討していくことが明らかになりました。

特別委員会



オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

ま しゅう

本区出身のリオ五輪柔道ベイカー業秋選手のパブリックビューイング、金メダル報告会について区から説明がありました。今後は東京五輪柔道会場・日本武道館のある北の丸公園周辺地域の環境整備を中心議題とし、地域住民・区・都・国・警察・学識経験者等で構成される「北の丸公園周辺地域委員会」と連携して一体的な整備に取り組むことを確認しました。

公共施設整備特別委員会

二番町の国有地を借り受けて特別養護老人ホーム等を整備することについて、国との協議が整ったことから、現在整備事業者の募集を行っていること。また、新スポーツセンターの整備については、公式競技の実施を想定した場合の主競技場とプールの必要面積等について報告がありました。

マンションと地域コミュニティ活性化特別委員会

「マンション地域生活協力員」及び「防災計画等策定支援」 等による地域コミュニティ醸成支援について、また、地域コミュニティ活性化に向けた今後の展開について区から報告がありました。委員からは、コミュニティ形成の課題対応への組織のあり方に関する問題提起や、今後の展開として、SNS 等の活用による周知の方法、また人材育成等、具体的な取り組みが必要との意見がありました。

議会のあり方に関する調査特別委員会

前回の委員会で確認され、今定例会本会議の質問時に試行した議場大型スクリーンの活用について、意見交換を行いました。現在の議場システム上では、投影までの手順が煩雑であり、また、インターネット中継におけるスクリーン活用の有効性について検証する必要がある等の意見がありました。

お茶の水小学校・幼稚園の改築と周辺地域の整備特別委員会

「区は情報を開示し、学校関係者や学区域住民のさまざまな意見を聞きつつ建て替えを進めていただきたい」という趣旨の「お茶の水小学校・幼稚園の建て替えについての陳情」を審査しました。7月に行われた同小学校・幼稚園保護者への説明会の実施状況及び今後の進め方について、区から報告を受けた後、陳情を全会一致で採択しました。





予算•決算特別委員会

当委員会に付託された2議案の審査経過及び結果は以下のとおりです。

「平成28年度千代田区一般会計補正予算第2号」は、障害者福祉センターの維持補修工事に関する経費及び高校3年生相当年齢までの子どもを対象とするインフルエンザ予防接種費用の全額補助に関する経費の追加と、旧千代田保健所麹町庁舎解体工事に係わる新たな債務負担の設定をするものです。

質疑の結果、障害者福祉センターの維持補修工事では、今 年1月から、新車両の風ぐるま(福祉バス)を運行しましたが、 大型化したためピロティ内の車両回転盤が使用できず、施設 内に停留所を設置することが困難になりました。そのため、停 留所を施設より少し離れた場所に設置しましたが、施設利用者 には不便な状況であることから、現行の車両回転盤を改修し、 再度、施設内に停留所を設置するために補正予算を計上した こと。また、インフルエンザ予防接種費用の全額助成は、今 年3月の第1回定例会で区議会が附帯決議したことを踏まえ て、例年10月から実施している従来の費用助成での積算べ一 スでは年度末に予算が不足することが予想されるので不足分 を補正予算で計上したこと。助成対象施設は、区内医師会に 加入している指定医療機関と子どもの受診が多いことを踏ま えて別途契約している日本大学病院の区内73カ所で接種した 場合のみであること等が明らかになりました。質疑を終了し、 討論の省略を諮り、採決の結果、賛成全員により可決すべき ものと決定しました。



「平成27年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について」

は、多岐にわたる分野の調査が必要なことから、企画総務、地域保健福祉、子育て文教の3つの分科会を設置し、詳細に調査を行いました。分科会の調査報告を受け、総括質疑に入り、千代田会館10階改修工事に伴う支出については、目的や工事費の積算の妥当性に疑義があること。また、高齢者総合サポートセンター「かがやきプラザ」が取得した「和紙アート」の支出についても、取得金額や執行機関の意思決定過程に疑義があるとのことで、総括質疑2日目に審議時間を割き、それぞれの現地調査を実施しました。調査終了後、いずれの事項についても、疑義の解明ができないとの理由で委員から「監査請求に関する決議」の提案がありました。

この提案に対し、千代田会館10階改修工事では、観光協会への貸与の是非、和紙アートの取得では、選定過程に不透明さがあるなど、監査請求の段階ではなく、議会で是非を判断すべきであるとの意見がありました。

この結果、長時間にわたり審議してきましたが、多くの課題が明らかになるとともに、監査請求決議の提案も踏まえ、本 議案を継続審査することを諮りました。

反対の意見として、分科会や総括質疑の審議過程で問題点は明らかになり、質疑も十分行われてきたことから結論を出すべきである、との意見がありました。

賛成の意見として、審議の中で答弁が十分でないことや、 続けて審議しても答弁の正確性が確認できないこともあり、 監査請求を行い、その結果等を勘案して判断したいことから 継続すべきである、との意見がありました。意見発表を終了し、 採決を行った結果、賛成多数で本議案を継続して審査することに決定しました。



今定例区議会で可決した意見書・決議(要旨)

食品ロス削減に向けての取り組みを進める意見書

世界では全人類が生きるのに十分な量の食べ物が生産されているにもかかわらず、その3分の1にあたる13億トンが無駄に捨てられています。まだ食べられる状態なのに捨てられてしまうのが食品ロスであり、半分は事業者の流通・販売の過程の中で起き、もう半分は家庭での食べ残しや賞味期限前の廃棄などで発生しており、削減には、事業者による取り組みとともに、国民の食品ロスに対する意識啓発も必要です。

よって政府は、国、地方公共団体、国民、事業者が一体となって食品ロス削減を進めるため、下記の事項に取り組むことを強く求めます。

①削減目標や基本計画を策定し、食品口ス削減推進本部の設置及び担当大臣を明確化すること②加工食品等の食品口スを削減するため、需要予測の精度向上により過剰生産の改善を図り、商慣習の見直しに取り組む事業者の拡大を推進すること③飲食店での食品口ス削減に向けて、「飲食店で残さず食べる運動」などを全国に展開すること④家庭における食品在庫の適切な管理や食材の有効活用など普及啓発を強化すること。消費期限と賞味期限の違いなど理解促進のため学校等における食育・環境教育など、食品口ス削減に効果が見られた好事例を全国的に展開すること⑤フードバンクや子ども食堂などの取り組みを全国的に拡大し、必要とする人に届ける仕組みを確立すること。さらに、災害時の活用を進めるため、被災地とのマッチングなど支援を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。 (提出先) 内閣総理大臣、消費者担当大臣、農林水産大臣、 経済産業大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣、環境大臣

次期介護保険制度改正における福祉用具・住宅改修 の見直しに関する意見書

平成27年6月30日に閣議決定された「骨太の方針」の中で、 次期介護保険制度改正に向けて、軽度者に対する福祉用具貸 与等の給付の見直しを検討することが盛り込まれました。現行 の介護保険制度による福祉用具、住宅改修のサービスは、高 齢者自身の自立意欲を高め、介護者の負担軽減を図るという 極めて重要な役割を果たしています。

仮に軽度者に対する福祉用具、住宅改修の利用が原則自己 負担になれば、特に低所得世帯等弱者の切り捨てになりかね ず、また、福祉用具、住宅改修の利用が抑制され重度化が進 行し、高齢者の自律的な生活を阻害し給付費が増大するおそ れがあります。

よって、千代田区議会は、政府に対し、次期介護保険制度 改正における福祉用具、住宅改修の見直しにおいては、高齢 者の自立を支援し、介護の重度化を防ぐといった介護保険の 理念に沿って介護が必要な方の生活を支える観点から検討を 行うことを強く求めます。 以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

(提出先) 内閣総理大臣、厚生労働大臣

豊洲新市場整備をめぐる重大な問題点について徹底 調査を求めるとともに、都民の「食の安全」を最優 先に、最善の解決方法をとることを求める意見書

小池都知事が9月10日、築地市場の移転先とされている豊 洲新市場の水産棟や青果棟の建物の下の盛り土が行われず、 地下空間になっていることを発表しました。

豊洲新市場の予定地は、東京ガス工場が1988年まで操業をしており土壌からは環境基準を大きく超える猛毒のシアン化合物、ヒ素などで汚染されていることが明らかになっていました。そのため、東京都は市場予定地の土を入れ替え、その上に 4.5mの盛り土をする「土壌汚染対策」を行うと説明していました。しかし、実際には盛り土が行われていなかったことは都民を欺くものです。

858億円も土壌汚染対策に投入しながら、ずさんな形で工事がやられていたことは極めて重大です。

よって、建物下の盛り土をやらなかった問題の徹底究明と豊 洲新市場の土壌や建物内空気中の調査を行い、市場の移転に ついては最善の解決方法をとることを求めます。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

(提出先) 東京都知事

監査請求に関する決議

地方自治法第98条第2項の規定により、次のとおり監査委員に対し監査を求め、その結果の報告を請求するものとする。

平成27年度千代田区決算は、千代田会館10階改修工事に伴う支出について、目的が不明確であり、工事価格の積算根拠の妥当性を欠き、予算の適正な執行という点において重大な疑義がある。また、「かがやきプラザ」所管の「和紙アート」については、財産に関する調書記載漏れのほか、取得にかかる金額の妥当性及び執行機関の意思決定過程が不明確であり、予算の適正な執行という点において重大な疑義がある。よって、千代田会館10階改修工事の目的及び経費並びに「和紙アート」の取得にかかる金額及び執行機関の意思決定過程について監査を求める。

以上、決議する。



かがやきプラザ 和紙アート



本会議における討論(要旨)

今定例区議会では、次の2件の議案を採決するにあたり、 討論がありました。その要旨をご紹介します。

1. 千代田区立図書館の指定管理者の指定について【反対の意見】

5年間を管理期間とする本議案は、一貫した方針のもとで継続して、司書や職員の専門性や知識を蓄積し、蔵書を充実させていくべき図書館事業にはなじまない。また、営利企業を指定管理者とすることで、職員の労働条件や図書サービスにしわ寄せがいきかねない。区が図書館の管理や運営に直接関われない指定管理者制度が、図書館という教育機関にふさわしいか考え直すことを求め反対する。 (牛尾)

【賛成の意見】

事業への応募業者が1団体のみで競争性、公正性確保という課題はあるものの、選定においては厳格な基準による評価によって区民の利益にかなった図書館サービスにふさわしい事業者が選ばれたと判断できる。今後については、複数の事業者による選定ができるよう、募集期間の延長やより詳細な情報を提供する等競争性を確保できるよう改善を求め、本議案に賛成する。 (永田)

2. 監査請求に関する決議 【反対の意見】

第一の理由は、監査請求でなく、課題を整理し政治的判断を下す段階だからだ。千代田会館10階の改修工事で問われるのは、この階を観光協会に貸与する是非の判断。「和紙アート」の課題は選定過程の不透明さだ。上記問題に「疑義がある」なら、調査権を行使し自ら解明にあたるのが議会本来の姿。第二の理由は、決算認定先送りは来年度予算編成に影響をもたらしかねない。以上から、本決議に反対する。 (木村)

【賛成の意見】

「和紙アート」は、かねてから本庁舎への導入で議論があったにも関わらず、説明もなく「かがやきプラザ」に導入した。また、「財産に関する調書」への記載も失念し、結果的に取得を隠ぺいしたと言わざるを得ない。さらに、取得金額の妥当性が検証されていないばかりか、導入までの意思決定過程も不明確。このことから予算の適正執行に疑義があり、監査を行う必要がある。以上から、本決議に賛成する。 (山田)

千代田会館10階改修工事については、目的が不明確であり、 改修工事の積算根拠に妥当性を欠き、予算の適切な執行とい う点において重大な疑義がある。また「かがやきプラザ」所 管の「和紙アート」は財産に関する調書に記載漏れがあった ほか、取得した金額の妥当性、執行機関の意思決定過程が不 明確である。議会の権能の一つである監査請求権を行使し、 調査・解明するため本決議に賛成する。 (たかざわ)



委員会で取り扱った請願・陳情(平成28年7月13日~平成28年11月8日)※詳細は、区議会ホームページでご覧になれます。

請願名及び陳情名(受付順に掲載)	付託・送付委員会 () は参考送付	審査状況 (平成28年11月8日現在)
お茶の水小学校・幼稚園の建て替えについての陳情	お茶の水小学校・幼稚園の改築と 周辺地域の整備特別委員会	審査終了
受動喫煙防止条例の早期制定に関する陳情	地域保健福祉委員会	審査終了
千代田区における受動喫煙防止に関する陳情	地域保健福祉委員会	審査終了
千代田区における、バランスのとれた受動喫煙防止対策を求める陳情	(地域保健福祉委員会)	審査終了
東京都千代田区における、バランスのとれた受動喫煙防止対策を求める陳情	(地域保健福祉委員会)	審査終了
風格ある首都千代田区の景観を形成する街路樹の伐採中止を求める陳情	企画総務委員会	審査終了
神田警察通りの街路樹の保存保護を求める陳情	(企画総務委員会)	審査終了
生命と歴史を尊ぶ千代田区の象徴としての街路樹の保存を求める陳情	企画総務委員会	審査終了
千代田区内の樹木の伐採中止と街路樹の保護育成を求める陳情	(企画総務委員会)	審査終了
千代田区の樹木(主に神田警察署通りの樹木)伐採中止を求める陳情	企画総務委員会	審査終了

6月~9月の主な活動

の月・タ月の土体が		
月/日	日 程 	
6/30~7/1	子育て文教委員会・国内行政調査【軽井沢町他】	
7 / 5	お茶の水小学校・幼稚園の改築と周辺地域の整備特別委員会	
8	政務活動費交付額等審査会	
19	区民集会運営協議会	
21	千代田区平和使節団議員派遣【沖縄・鹿児島:秋谷こうき議員】(24 日まで)	
	議会運営委員会	
25	企画総務委員会	
	子育て文教委員会	
8 / 5	千代田区平和使節団議員派遣【広島:大坂隆洋議員】(7日まで)	
8	千代田区平和使節団議員派遣【長崎:池田とものり議員】(10 日まで)	
25	議会運営委員会	
9 / 7	子育て文教委員会	
12	企画総務委員会	
12	議会のあり方に関する調査特別委員会	
13	地域保健福祉委員会	
14	〈平成 28 年第 3 回千代田区議会定例会告示日〉	
14	議会運営委員会	
20	議会運営委員会	

■嬬恋村議会議員との交流会

10月25日、千代田区において嬬恋村議会議員と区議会議員との交流会を開催しました。意見交換会では、自然体験交流事業や今後の交流事業のあり方、「嬬恋の宿あいさい(旧嬬恋自然休養村)」のPR等について、熱心な意見が交わされました。



■会派の幹事団変更

8月24日付で、会派の幹事団の変更がありましたのでお知らせいたします。

○「自由民主党議員団」

(旧) 幹事団 (新) 幹事団

幹事長嶋崎秀彦幹事長嶋崎秀彦副幹事長 桜井 ただし副幹事長 桜井 ただし副幹事長 内田 直之副幹事長 永田 壮一幹事山田丈夫幹事山田丈夫経理責任者小林やすお経理責任者小林やすお

平成28年第3回定例区議会 会期日程〈会期29日間〉

月/日	本会議・委員会関係日程	月/日	本会議・委員会関係日程
9 / 21	議会運営委員会		マンションと地域コミュニティ活性化特別委員会
9/21	本会議(会期の決定・区長招集あいさつ等)	10 / 11	議会のあり方に関する調査特別委員会
23	議会運営委員会		お茶の水小学校・幼稚園の改築と周辺地域の整備特別委員会
29	議会運営委員会	12	=¥△宮尚禾巳△
29	本会議(代表質問・一般質問)		議会運営委員会
	議会運営委員会	13	議会運営委員会
30	本会議 (一般質問・議案の付託等)		
	予算・決算特別委員会		予算・決算特別委員会(総括)
	企画総務委員会	4.4	予算・決算特別委員会(総括)・国内行政調査【千代田会館10階・
10/3	地域保健福祉委員会	14	かがやきプラザ1階】
	子育て文教委員会		企画総務委員会
4	予算・決算特別委員会	17	地域保健福祉委員会
5	予算・決算特別委員会(分科会)		子育て文教委員会
6	予算・決算特別委員会(分科会)	18	議会運営委員会
7	オリンピック・パラリンピック対策特別委員会	19	議会運営委員会
	公共施設整備特別委員会		本会議(議案の議決等)

政治家の寄附行為は禁止されています 「寄附の禁止」こんな時は? Q&A

- Q 政治家が、家族や秘書の名義で支払ったお祝い金は、寄附にあたりますか?
- A 他の人の名義でも、政治家本人の禁止されている寄 附にあたります。





- Q 地域で開催されるカラオケ大会の商品を政治家が提
- A 物品の提供も、利益を与えることとなるため禁止されている寄附にあたります。

供した場合、寄附にあたりますか?





- Q 政治家からの結婚祝いや香典は、寄附にあたりますか?
- A 結婚祝いや香典も禁止されている寄附にあたります。(政治家本人が結婚披露宴、葬式等に自ら出席してその場で行う場合は罰則が適用されない場合が

あります。)



- Q 町会で被災地支援の募金を集めることになりました。 町会にいる政治家が募金に応じた場合は、寄附にあ たりますか?
- A 募金に応じた場合も、禁止されている寄附にあたります。

基金箱

※注:上記事例は、すべて政治家の選挙区内における寄附に関するものであり、禁止される寄附にあたる場合は、罰則が適用されます。





可…可決/否…否決/採…採択/不…不採択 議案の審議結果等 (平成28年第3回定例区議会) ○…賛成/×…反対/欠…欠席/退…退席/除…除斥 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 6 7 議員名 等 岩秋岩寺大米大池山飯 は林河松小桜 牛 木 小小戸永内嶋 ゃ ※議員名の下段は、会派名略称 ざわ 出投賛反議 議 |田|谷|佐|沢|串|田|坂|田|田|島|尾|村 林 林井 枝 張 \blacksquare \blacksquare 崎 お P4 ~ P5欄外参照 席 決 決 こうき す 恭 則良 票 文 か 隆 和 耕正 た 孝 壮 直 秀 秀 佳 や 丈 者 ずや 次郎 かや 議案名等 洋 夫 子郎 明 彦 行 数 成対果 数 В 千 民民紡紡公 公 自自自井井井 自自自自 声声 代代代代 進進 ク ク|民|民|明|明|民|民|民|産|産|産 民民民田田田田民民民 \circ \circ 000 \circ 000 0 0 00 0 0 0 10/19 食品ロス削減に向けての取り組みを進める意見書 25 24 24 0 可 0 00 00 \bigcirc \circ \circ 次期介護保険制度改正における福祉用具・住宅改修の見直しに 25 24 24 0 可 0 00 \bigcirc \circ \circ \circ 0 \circ 0 \bigcirc 0 \circ 0 \bigcirc \circ \circ 0 0 \bigcirc 0 \circ \circ \bigcirc 10/19 提出議案 長 豊洲新市場整備をめぐる重大な問題点について徹底調査を求めるとともに、 000 25 24 24 0 可 00 \circ \circ \bigcirc 0 0 0 \circ 0 0 0 \circ \circ \circ 0 0 \circ 10/19 都民の「食の安全」を最優先に、最善の解決方法をとることを求める意見書 は 25 24 17 7 監査請求に関する決議 可 X × \bigcirc \circ \circ \circ \circ 0 0 \circ \bigcirc 0 \circ \circ \circ \circ \circ \bigcirc 0 10/19 採 千代田区議会議員及び区長の選挙における選挙運動の公費負担 25 24 24 0 可 00 \bigcirc \circ 0 \circ 00 \circ \circ 0 00 \bigcirc \circ 0 00 0 0 0 \circ \circ \bigcirc 10/19 に関する条例の一部を改正する条例 決 0 国指定史跡常盤橋門跡常磐橋復旧工事Ⅱ期請負契約について 25 24 24 0 可 0 00 \bigcirc \circ \circ \circ 0 \circ 0 \bigcirc 00 \bigcirc \bigcirc 0 \circ \bigcirc \bigcirc 10/19 0 可 00 0 0 0 00 \bigcirc 0 000 0 0 0 起震車の購入について 25 24 24 \circ \circ \bigcirc \bigcirc 10/19 加 特別区道の路線の廃止について 25 24 20 4 可 0 \circ 0 \bigcirc \circ \circ \bigcirc 0 \bigcirc \circ 00 \bigcirc \circ \circ 0 0 \circ \bigcirc \bigcirc 10/19 × 千代田区障害者の意思疎通に関する条例 25 24 24 0 可 000 \circ 000 00 \circ 0 \circ 0 000 0 000 00 \bigcirc 10/19 区 長提出議案 0 00 \circ \circ 0 0 25 24 19 5 可 0 \circ \circ \bigcirc \circ \circ 0 \circ × × × \circ \circ \circ 10/19 千代田区立図書館の指定管理者の指定について 5 可 0 0 0 0 \circ \circ 0 0 \circ \circ \circ 0 \circ 千代田区立九段生涯学習館の指定管理者の指定について 25 24 19 \bigcirc \bigcirc \bigcirc × \circ 0 10/19 千代田区立スポーツセンターの指定管理者の指定について 25 24 19 5 可 \circ \circ 0 \circ \circ 0 \circ \circ \circ \circ \circ \circ \bigcirc × \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 10/19 \circ \circ 0 0 \circ \circ 平成28年度千代田区一般会計補正予算第2号 25 24 24 0 可 \circ 00 \bigcirc \circ \circ \circ 0 \circ \circ \bigcirc 00 \circ 0 \circ 10/19 平成27年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について 続 告 平成27年度千代田区財政健全化判断比率について 9/30

◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数25名

■ 区議会だより CD版を郵送します

視覚に障害のある方で、ご希望の方に「千代田区議会だよりCD版」を郵送します。区議会事務局にご連絡ください。

☎3264-2111 内線3315 FAX 3288-5920



飯田橋 アイガーデンテラス周辺

■区議会だより編集委員会の構成

委員長 小林やすお(自民) 副委員長 河合良郎(千代田)

委 員 永田壮一(自民)

池田とものり(自民) 牛尾耕二郎(共産) 小林たかや(声) 岩佐りょう子(紡民) 米田かずや(公明) 秋谷こうき(民進ク)





三菱一号館